

スクール統括責任者 窪田正明氏が推薦

～「ものづくり改善インストラクター学校」発足へ～

東京大学大学院教授
藤本 隆宏 氏

著書紹介

福井ものづくり改善インストラクター学校のカリキュラムは、東京大学ものづくり経営研究センターと共同開発した講義・演習・現場実習からなる実践的かつ体系的なもの。ここでは、同研究センター長である東京大学 藤本隆宏教授のものづくり理論と当スクールをより深く知りたい方におススメの6冊をご紹介します。



東京大学大学院
藤本 隆宏 氏

1955年東京都生まれ。東京大学経済学部卒業。三菱総合研究所を経て、ハーバード大学ビジネススクール博士課程修了（D.B.A.）。現在、東京大学大学院経済学研究科教授兼ものづくり経営研究センター長。一般社団法人ものづくり改善ネットワーク代表理事。専攻／技術管理論、生産管理論、経営管理論。

生産マネジメント入門Ⅰ 生産システム編

藤本隆宏／著
日本経済新聞社 2001年



ものづくり経営研究センターの研究結果がまとめられたテキスト。「ものを作ることは経営の原点」、「製品開発から実際の生産工程まで効率的にマネジメントする企業だけが勝ち残る」とし、「戦略的もの造りの体系」を生産工程のマネジメント事例と豊富な図を交えて分かりやすく徹底解説。

ものづくり成長戦略 「産・金・官・学」の地域連携が日本を変える

藤本隆宏・柴田孝／編著
光文社 2013年



地域で活躍するものづくり現場改善の「インストラクター」、「インストラクター養成スクール」のような、地道なものづくり改善運動の積み重ねが日本経済の成長につながるとし、ものづくり経営研究センターの誕生から全国に広がったプロジェクトの活動報告と併せ「現場発、ものづくり長期成長戦略とは何か」を考える。

ものづくり経営学 製造業を超える生産思想

藤本隆宏・東京大学21世紀COEものづくり経営研究センター／著 光文社 2007年



それまでの4年間の試行錯誤によるものづくり経営学が、全558ページにわたってまとめられた大作。製造業に限らずサービス業など藤本理論が一般化されて展開する。産業の構造変化、国際化に対応するものづくり戦略とはどういうものか？ものづくり学の可能性を描き出した一冊。

日本のもの造り哲学

藤本隆宏／著
日本経済新聞社 2004年



藤本隆宏氏の「もの造りの現場から発想した企業戦略」を論じた書。藤本氏自身の言葉で、「組織能力」と「アーキテクチャ(設計思想)」をキーワードにした事例をふんだんに交えつつ語られており、さらには、ものづくりの力を利益に結びつけるまでの指南や提言も述べられている。

現場主義の競争戦略 次代への日本産業論

藤本隆宏／著
新潮社 2013年



現場主義の目で見れば、日本経済の本当の力が見えてくる。数字だけの経営分析、根拠のない「製造業悲観論」を真に受けてはならない、と製造業者への応援歌となる書。熾烈なグローバル競争の中で「何をやりたいか」より「何なら勝てるか」を考え抜く、現場発の日本産業論。

トヨタ生産方式にもとづく「モノ」と「情報」の流れ図で現場の見方を変えよう!!

マイク・ローザー、ジョン・シュック／著 成沢俊子／訳
日刊工業新聞社 2001年



「モノと情報の流れ図」作成の指南書。部品・素材が製品として完成するまでの流れを、共通のアイコンで視覚化する→あるべき姿を描く→改善実行計画を立案するという手順と共に紹介する。スクールの中でもこの手法で、全体を俯瞰した設計情報の把握（鳥の目現場改善）に活かしている。